

## 渡良瀬遊水地エリア検討部会

# エリア内で展開するテーマプロジェクト(案) について

平成29年3月9日



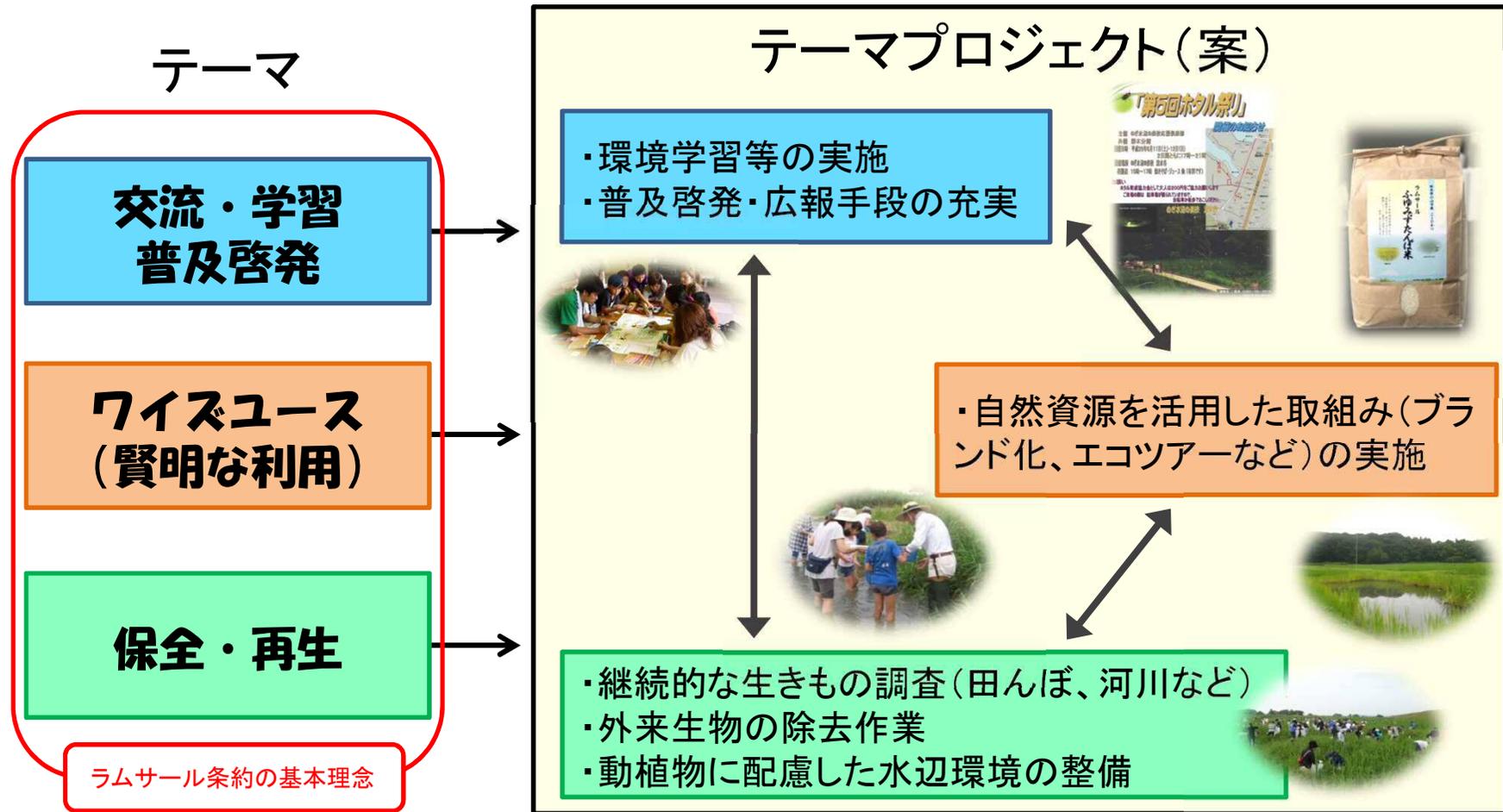
# 地域の特性を活かしたテーマプロジェクトについて

渡良瀬遊水地エリアの取組み目標でもあるラムサール条約の3つの理念をテーマとし、エリアへの来訪者の「アクセス」やエリア内の来訪者の「回遊性」の確保向上を意識した、地域住民など様々な主体との連携・協働による地域の先導的取組みとなる「テーマプロジェクト」を位置付ける。そして、多様な主体の連携によるパートナーシップ型によりエリア内で広域的に実施することにより、エコロジカル・ネットワークの形成を促進する。



# 渡良瀬遊水地エリアで取組むテーマプロジェクト(案)

渡良瀬遊水地エリアの取組み目標でもあるラムサール条約の3つの理念をテーマとし、そのテーマごとに取組むべきプロジェクト(案)を作成する。各テーマプロジェクトは互いにつながりを持ちながら、バランスよく取組みが進められることが、本エリアでのエコロジカル・ネットワークを形成する上で重要である。



# テーマプロジェクトの目的・内容(案)

多様な主体の参加・交流  
市民、学校、企業、団体、行政、...

## ・環境学習等の実施 ・普及啓発・広報手段の充実

### 交流・学習

#### <目的>

- 自然環境を守り、育てられる人材の育成
- 渡良瀬遊水地エリアの貴重な自然・歴史・文化等の発信
- 多様な主体による交流・連携の促進

#### <内容>

- 環境学習講座・自然体験プログラムの実施
- 環境保全や活力ある地域づくりのあらたな担い手育成
- 活動成果の発表・交流の場の創出 など

## ・自然資源を活用した取組み（ブランド化、エコツアーなど）の実施

### ワイズユース(賢明な利用)

#### <目的>

- 「自然にやさしい」ことを付加価値化
- 自然環境やそこから得られるものを地域資源として認識し、持続可能な方法で利用

#### <内容>

- 生物多様性育む農法で生産された農産物のブランド化など
- 各地の自然・文化・歴史拠点をめぐるエコツアーの実施
- 自然の恵みを利用した食材・料理の提供 など

## ・外来生物の除去作業 ・継続的な生きもの調査(田んぼ、河川など) ・動植物に配慮した水辺環境の整備

### 保全・再生

#### <目的>

- シンボルであるトキやコウノトリの生息環境づくり
- 渡良瀬遊水地エリア本来の貴重な自然生態系の保全・再生

#### <内容>

- 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会で検討中の統一調査手法による田んぼの生きもの調査の実施
- 侵略的外来生物の除去作業により、地域本来の生態系を保全
- 生物多様性を育む農業の実施、水田魚道の設置、遊休農地のビオトープとしての活用 など

# テーマプロジェクトの具体案

渡良瀬遊水地エリアにおける既存の取組みをベースに、自治体、企業、住民等が連携して取り組める、渡良瀬遊水地エリアの特徴を活かしたテーマプロジェクトおよび具体的な取組み案を作成する。

## テーマプロジェクト作成、具体案検討にあたっての基本的な考え方

- エリア目標像である「トキやコウノトリ“も”舞う魅力的な地域づくり」に資するもの
- 多様な主体が連携・協働するパートナーシップ型の取組みによって、持続的かつ、より高い効果が期待できるもの
- 取組みスタートに向けてのハードルが比較的 low、エリア広域で展開可能なもの
- 全国的な傾向や社会的動向、エリアの現状からみて優先度が高いもの（外来種駆除など）

テーマプロジェクト(案)



具体案

＜保全・再生＞	
◆ 外来生物の除去	● エリア一斉外来生物駆除イベントの開催
◆ 継続的な生きもの調査の実施(田んぼ、河川など)	● 関東統一手法によるエリア合同水田生きもの調査の実施 ● 市民参加によるアカガエル等の継続的モニタリング調査の実施
◆ 動植物に配慮した水辺環境の整備	● 生物多様性育む農業の実施 ● 市民農園の開設等による農法実施の拡大
＜ワイズユース(賢明な利用)＞	
◆ 自然資源、農業資源、歴史文化資源を活用した事業(ブランド化、エコツアー、ファームステイなど)の実施	● 生物多様性育む農業で生産された農産物の販路拡大や学校給食での活用 ● 農産物の有機JAS認証の取得 ● 遊水地と周辺地域をめぐるエコツアーの実施
＜交流・学習＞	
◆ 環境学習等の実施	● エリア合同でのボランティア解説員の育成 ● 学校等での生徒たちに対する環境教育の実施
◆ 普及啓発・広報手段の充実	● エリア内の様々な情報が集約されたウェブサイト(ポータルサイト)の開設 ● 市民も交えた「エリア情報交換会(仮称)」の開催

# 各自治体のテーマプロジェクト実施状況

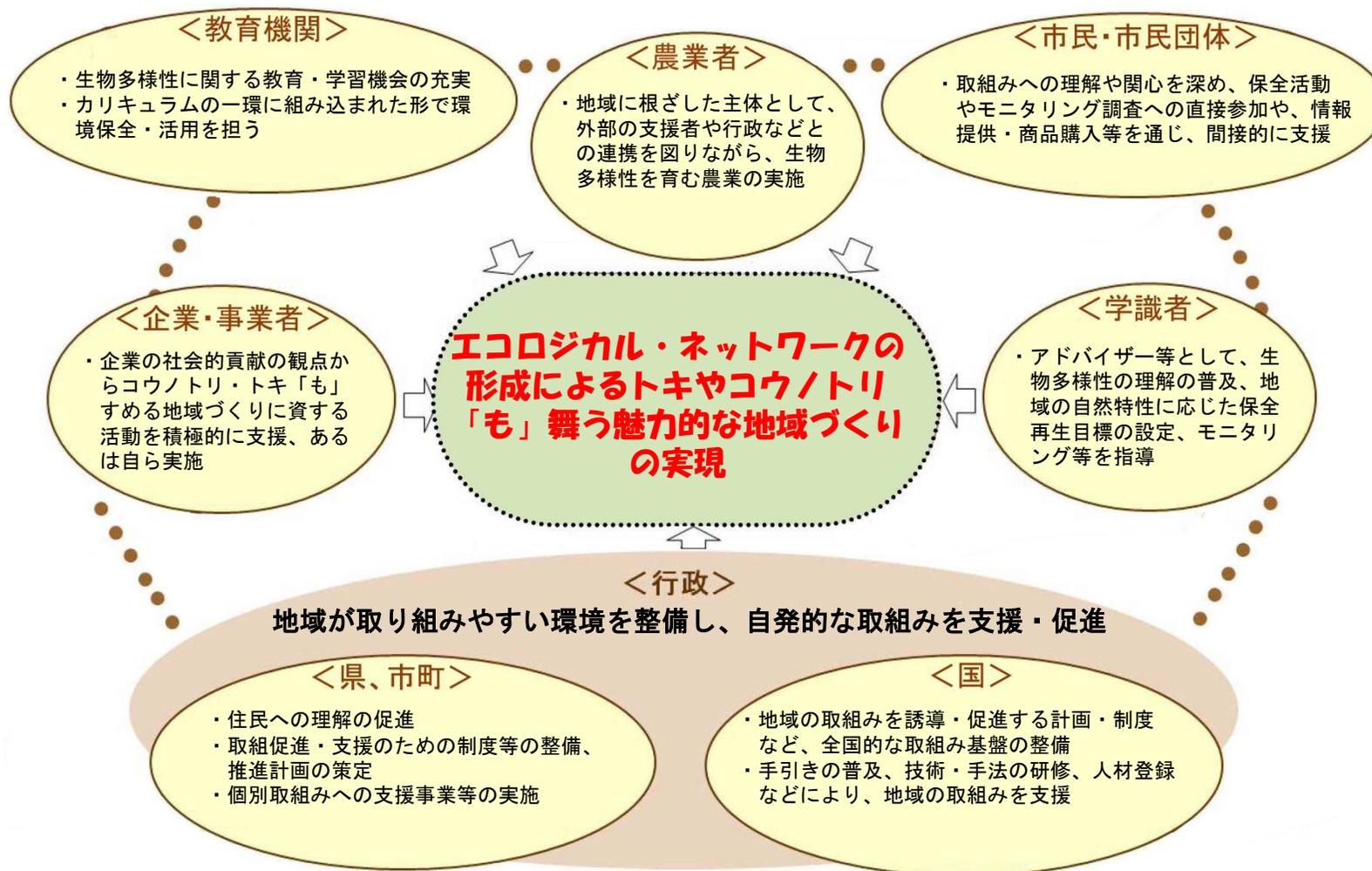
テーマプロジェクト		栃木県	小山市	栃木市	野木町	群馬県	板倉町	埼玉県	加須市	久喜市	茨城県	古河市	五霞町	境町	結城市	
保全・再生	外来生物の除去作業	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	△	△	△		
	継続的な生き物調査の実施 (田んぼ、河川など)	○	○	○	○				○							
	動植物に配慮した 水辺環境の整備	○	○	△	○	○	△		△	△		△	△	△		
ワイズユース (賢明な利用)	自然資源を活用した事業 (ブランド化、エコツアーなど) の実施	○	○	○	○		○		○	○		○				
交流・学習 普及啓発	環境学習等の実施	○	○	○	△	○			△	○	○	△	△			○
	関連情報に関する 広報の充実	○	○	○					○		○					

※あくまで事務局として把握している情報(意見照会結果など)を基に作成したものです。  
 加除修正などございましたらご教示ください。  
 また、追加の場合はあわせて事例をご教示ください。

【凡例】  
 ○: 既に実施  
 △: 計画・情報発信まで実施

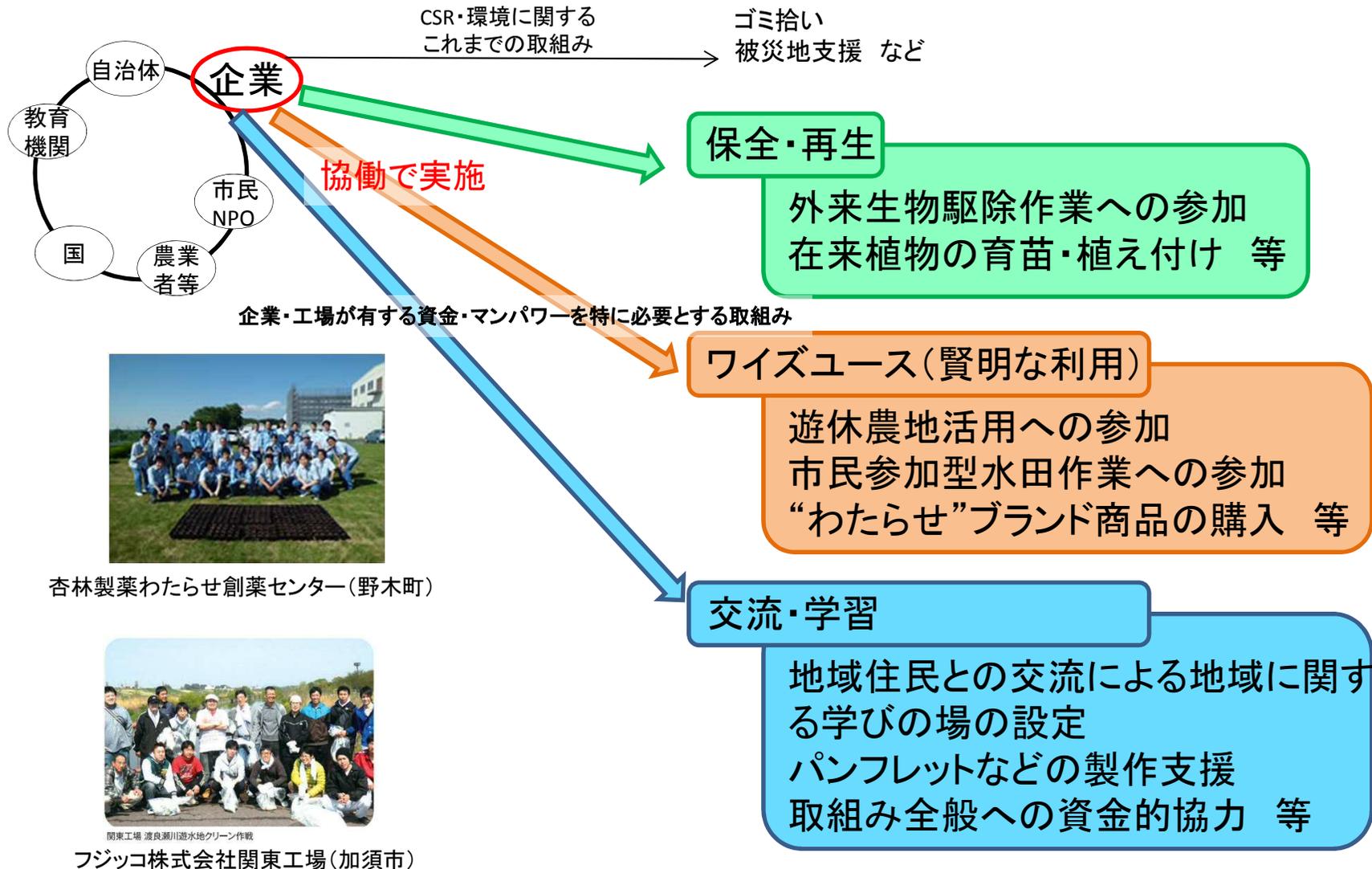
# パートナーシップ型による取組みの推進について

エコロジカル・ネットワーク形成の取組みを継続的かつ効果的に進めていくため、エリア内各地の多様な主体が互いに連携した「パートナーシップ型」での取組みを推進。



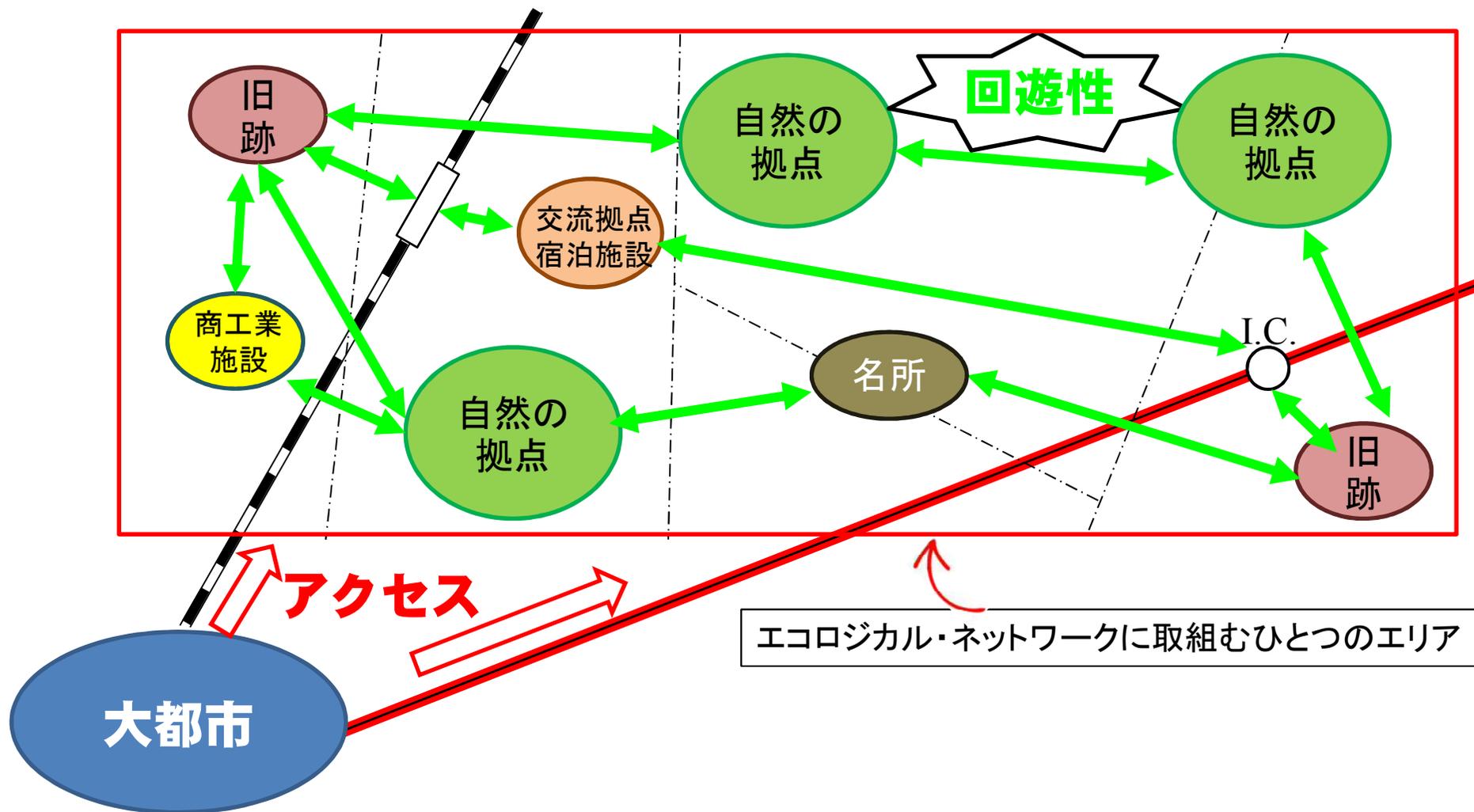
# パートナーシップの一例(企業とのパートナーシップ)

渡良瀬遊水地エリアは、工場立地条件が整っており、多くの企業・工場が立地している。渡良瀬遊水地エリアのパートナーシップ型取組みを推進するためには、企業との連携が重要な要素である。これまでも各企業は「CSR(企業の社会的責任)」や「環境への取組み」の一環として、様々な取組みを実施しておりエコロジカル・ネットワーク形成に向けた大きな力となる。



# プロジェクトを推進する上での留意点：アクセスと回遊性

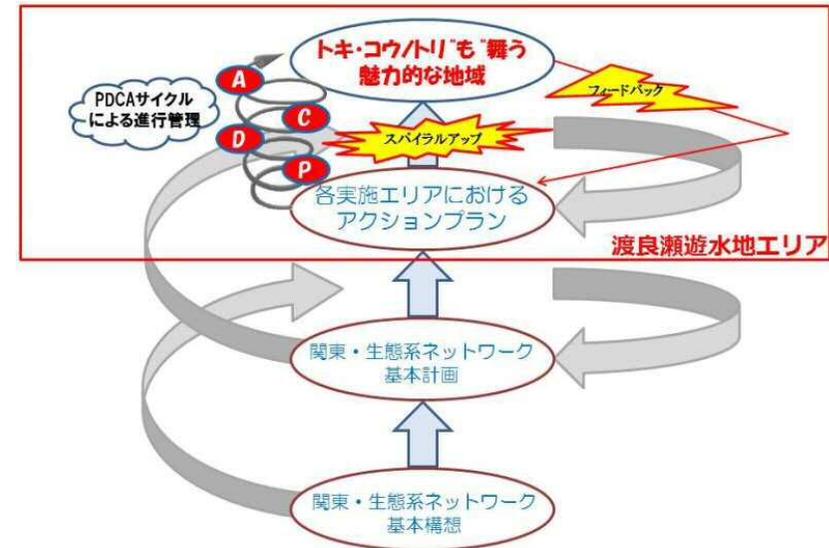
賑わいのある魅力的な地域の実現に向けて、プロジェクトの作成・実施に当たっては、「①各地域から遊水地エリアへの来訪者の増加(アクセス)」および「②来訪者がエリア内に滞在して地域資源を巡ることによる観光消費の拡大(回遊性)」を図ることが重要である。



# アクションプランの作成

テーマプロジェクトの検討とあわせて、その実施・展開を確実なものとするために、エコロジカル・ネットワーク形成に向けた行動計画である「アクションプラン」を作成する。

これは、「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」によって平成28年3月に策定された「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画」をベースとしつつ、渡良瀬遊水地エリアの地域特性やテーマプロジェクトの内容を反映させた、地域版のプランである。



エコロジカル・ネットワーク形成の流れ(イメージ)

## 渡良瀬遊水地エリアにおける取組みの流れ

**関東広域での取組み**

関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画  
コウノトリ・トキを指標とした魅力的な地域づくりを推進して

平成28年3月  
関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会

関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画  
(平成28年3月策定)

**渡良瀬遊水地エリアの地域特性を活かした取組みの検討**

渡良瀬遊水地周辺の環境の現状(評価結果)

渡良瀬遊水地エリア検討部会  
渡良瀬遊水地エリア意見交換会

交流・学習 自然・環境教育の推進  
賢い利用 産経済活性化への展開

渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会

テーマごとの取組みの検討・推進

保全・再生 環境整備の推進

トキやコウノトリ"も"舞う魅力的な地域づくりに向けた「アクションプラン」の策定

テーマプロジェクト  
プログラム・メニュー  
役割分担  
ロードマップ

テーマ	プログラム(例)
保全・再生	現状把握・計画策定 河川・農地における生息環境整備
賢い利用	有機農産物のブランド化 エコツアーの実施
交流・学習	参加の仕組みづくり 地域振興・経済活性化の推進 継続・発展に向けたしなげづくり